

# グルジア政治・経済 主な出来事

【2014年9月29日～2014年10月5日】

[当地報道をもとに作成]

平成26年10月10日

在グルジア大使館

## 主な動き

### 1. アブハジア・南オセチア

#### 【アブハジア】

##### ▼ハジンバ「大統領」が首相を指名(29日)

・ハジンバ「大統領」は、アブハジア唯一の民放 TV 放送局の所有者プトバ「アブハジア経済発展党」党首を新しい「首相」に指名。今後プトバ氏は閣僚候補者を選び、「大統領」の承認を得なければならない。

##### ▼露国境警備隊が「国境」侵犯による拘束者数を発表(10月1日)

・露国境警備隊は「アブハジア・グルジア間の国境侵犯」により2014年1月～9月に3,500名以上を拘束したと発表。「公式」通過点の通過者はのべ80万人以上、通過車両はのべ2万5000台以上。

##### ▼ハジンバ「大統領」が行政境界線の通過点の閉鎖に言及(10月2日)

・ハジンバ「大統領」は、自身が党首を務めるアブハジア人民連合フォーラム党の会合において、(アブハジアとグルジア支配地域の境界線である) エングリ川の通過点は一か所を残し全て閉鎖されねばならないと発言。現在は5か所に通過点が設けられている。

・これに対し、4日、ガリバシヴィリ首相は(通過点の閉鎖は)「合理的な措置ではない」「このような決定は和解のプロセスに資さず、問題を複雑にするだけである」とコメント。ザカレイシヴィリ和解・市民平等担当國務大臣は、通過点の閉鎖は現地の緊張を高め、治安状況を悪化させるだろうとして、閉鎖が実施されないよう希望を述べた。

### 2. 外 政

##### ▼マルグヴェラシヴィリ大統領の発言(30日)

・トルコ訪問中の「マ」大統領はトルコ公共 TV 放送局のインタビューで、グルジアはロシアとの関係改善を進めているが、両国間には「決して合意できない問題がある」と発言。また、「グルジアは必ず領土一体性と主権を回復する。別の可能性はあり得ない」「問題はすぐには解決されないが、平和的な手段による解決のみが可能である」と述べた。

##### ▼グルジアに関する欧州評議会議員会議の報告書(10月1日)

・欧州評議会議員会議(PACE)において、ジェンセン議員(デンマーク)とツィレヴィチス議員(ラトビア)がまとめたグルジアに関する報告書の修正をめぐって議論が行なわれた。野党「統一国民運動」(UNM)の代表者

の提案した修正は、「前政権の高官のほぼ全員の逮捕・迫害がグルジアの民主的な発展に暗い影を投げかけている」など、現政権を批判する内容であり、与党連合「グルジアの夢」の代表者や一部の議員のほか、報告書の執筆者も「バランスのとれたトーンが失われる」として反対したが、大多数の賛成により修正が受け入れられた。

・PACE 報告書の修正について、ガリバシヴィリ首相は UNM はグルジアの国家や国民を敵にして戦っていると批判。

##### ▼トロエンコ・モルドバ国防相がグルジアを訪問(10月1日～2日)

・アラサニア国防相と会談。「ア」国防相はグルジアの領土一体性・主権に対するモルドバの支持に感謝。両国防相は地域情勢や二国間の国防協力について協議し、特に軍事教育に関する協力を焦点を当てた。両国の軍の共同訓練も提案された。「ト」モルドバ国防相はグルジアの軍改革の経験の共有を希望。会談後、両国防相は国防分野における協力に関する覚書に署名。「ト」モルドバ国防相はグルジア軍の基地や訓練センターを視察した。

##### ▼クラーク国連開発プログラム総裁がグルジアを訪問(10月1日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相、パンジキゼ外相と会談。

・ガリバシヴィリ首相との会談では、グルジアの経済発展、被占領地域の状況、人道支援など幅広い問題について議論。平和的な紛争解決に向けた国連の役割に特に焦点が当てられた。「ク」総裁は、UNDP はグルジアの民主的な統治、経済発展、環境保護、緊急事態予防を支援するとして、UNDP とグルジアとの新たなパートナーシップに関する計画を提案。「ガ」首相は、占領線付近の地域での UNDP の人道活動を高く評価。

##### ▼シリア反政権派戦闘員のグルジアでの訓練の可能性に関する露外務省の声明(10月2日)

・露外務省は、シリア反政権派戦闘員に対してグルジアが訓練キャンプを提供するとの計画に関する報道について、「グルジア政府がこのような決定をした場合には、南コーカサスの安定と安全保障を深刻に損ない、露・グルジア関係の正常化プロセスに対する否定的な影響は避けられない」との声明を発表。

##### ▼赤十字国際委員会の代表団がグルジアを訪問(10月2日)

・2日、パンジキゼ外相がコルバス赤十字国際委員会欧州・中央アジア局長と会談。被占領地域の人道状況やそれに対する国際機関の積極的な関与などについて議論。

### ▼パプアシヴィリ憲法裁判所長官が訪日(10月3日)

・松島法相と司法分野での両国の協力について会談。松島法相は、グルジアは地域における民主化と司法改革のリーダーであると称えた。

### ▼英国防省の代表団がグルジアを訪問(10月3日—4日)

・代表団はカロサニゼ国防次官、ダルチアシヴィリ国防次官らと国防・軍事教育の分野における協力の見直し、地域的な安全保障などについて会談。2015年～2016年のグルジアと英国の国防省間の協力計画に署名がなされた。

## 3. 内 政

### ▼マルグヴェラシヴィリ大統領が国会に最高裁判事候補者を再提出(29日)

・「マ」大統領は、8月1日に国会の与党会派に否決された最高裁判事候補2名を再び国会に提出。与党連合議員はこれから与党連合内で支持するか否かを協議すると述べた。最低76名の支持が必要。8月の採決時には、2名はそれぞれ29名と27名の支持しか得られず、「マ」大統領は国会の判断は「全く理解できない」として、再提出の意向を示していた。

### ▼ダヴォス会議への出席者をめぐる議論(30日)

・イスタンブルでのマルグヴェラシヴィリ大統領とシュワブ世界経済フォーラム主宰との会談後、アバシヴィリ大統領補佐官が「シュワブ氏は大統領をダヴォス会議へ招待した」と発表。

・パンジキゼ外相は、ガリバシヴィリ首相が既に5月に招待状を受け取っており、出席を決めていると発言。カラゼ・エネルギー大臣は「ダボス会議には首相が出席せねばならない」と発言。

### ▼ジヴァニア元首相の遺体の再検査(30日)

・検察は、2005年2月に死去したジヴァニア元首相の死因を検証するため、遺体の再検査を実施すると発表。

### ▼ガリバシヴィリ首相の発言(1日)

・政権交代をもたらした2012年10月1日の議会選挙から2年が経過したことにより、ガリバシヴィリ首相が声明を発表。この2年間で、EUとの連合協定への署名が実現し、メディアの自由、医療へのアクセス、法の支配が改善したと評価。アブハジアおよび南オセチアの住民に対し、領土一体性の回復のために政府は最善を尽くすと呼びかけた。

## 4. 経 済

### ▼セルゲエンコ労働・保健・社会保障大臣とダネリア農業相が訪米(29日)

・訪米中の「ダ」農業相は、灌漑システムの発展に関する約6300万ドルのプロジェクトについて世界銀行の代表者と協議。

### ▼2014年8月の経済成長率(30日)

・国家統計局が速報値を発表。2014年8月の実質GDPの成長率は前年同期比5.2%。2014年1月～8月の実質GDPの成長率は前年同期比6.1%。

### ▼政府が国会に2015年予算案を提出(10月2日)

・歳入7930百万ラリ、歳出7891百万ラリ(2014年予算予定額は歳入7319百万ラリ、歳出7891百万ラリ)。税収7460百万ラリ、外国からの補助金180百万ラリを見込む。  
・各省への予算の配分は労働・保健・社会保障省2750百万ラリ(2014年予算より3%増)、国防省625百万ラリ(同1%増)、内務省600百万ラリ(2014年予算と変わらず)、地方発展インフラ省955百万ラリ(2014年予算より9%増)、教育科学省828.9百万ラリ(同10%増)、農業省291百万ラリ(同10%増)など。国会への配分52百万ラリ、グルジア正教会への補助金25百万ラリもともに2014年と同じ。

・今後、12月に予定されている国会の採決までの間に修正される可能性がある。

・30日の閣議でハドゥリ財務相は、2015年の経済成長を5%、デフレ率4%と予測。

### ▼2014年9月のインフレ率(10月3日)

・国家統計局が速報値を発表。月間インフレ率は1.2%。食料品・非アルコール飲料の価格が3.3%上昇(牛乳・チーズ・卵6.2%、野菜16.1%、肉1.3%、果物15.0%)。医療費が1.5%上昇。

・年間インフレ率は4.8%。2012年以来最高を記録。食料品・非アルコール飲料の価格が8.4%、医療費が15.2%上昇。

### ▼ハドゥリ財務相が世界銀行の代表者と会談(10月3日)

・ハドゥリ財務相はグルジアを訪問したケラリ世界銀行南コーカサス地域担当部長と会談。2015年～2017年の新たな発展計画について協議。世界銀行は保健や教育の分野などを含む総合的な成長の達成に向けてグルジア政府を支援する。

## 5. その他

### ▼グルジア西部での洪水(29日)

・西部での豪雨により、グリア地方では多数の家屋が浸水。アチャラ自治共和国やスヴァネティ地方など数か所で地滑りが起きた。

・29日、国家安全保障・危機管理委員会が政府による対応状況を報告。翌30日にはガリバシヴィリ首相がアチャラ自治共和国およびグルジア地方に赴き被害状況を視察。

・30日、ハドゥリ財務相はオズルゲティ市の復興には600万ラリが必要と述べた。